

# 読んでっ!



No. 199

企画・製作・発行 九州ルーテル学院大学チャペル委員会

- 委員長 3PE1 武田美緒 ●副委員長 3CE2 千原茉莉乃  
2CE1 千代田徳乃
- 編集長 3PS1 平野和香奈 ●副編集長 2CE1 山本愛結
- 編集スタッフ(広報系)  
1PE1 上野夢華 3PS1 中川心晴 4C3 黒田多恵

## チャプレンより 毎日「小ライブ」、やっています。

4月に赴任してつくづく思われるのは、この大学、毎日「小ライブ」やっているな、の感想です。チャペル礼拝(15分)のことです。

前号の「読んで!」の学生コメントのなかに「曜日替わりで…今日は何の日だろうとワクワクしながら足を運んでいます」と書いてくださったとおり、奏でる音楽やバラエティーに富んだメッセンジャーの言葉、それら一つひとつは食堂の日替わり定食ならぬ、心の日毎(ごと)の糧(かて)です。

考えてみれば、『聖書』が文字になる前は「口伝」(くでん)で伝え合うものでした。語り部が立ちそれを聞く聴衆が居て紡がれた歴史です。人と人、神と人とがふれあい分かち合う基本中の基本は、心理・人文学にたずさわる私たちにもきっと参考になることでしょう。対面で人肌のぬくもりを伝え合う生業ですから。学院の中心で、今日も古くて新しい「小ライブ」(前方S席も無料)、やっています。  
\*両サイドの「暗幕」も39年ぶりに新調しましたので、ぜひ見にお出ください。ピッカピカ、でなく真っ暗です!

和田 憲明チャプレン

## 宗教改革記念について

今月10月31日(金)は宗教改革記念日です。宗教改革記念日は、マルティン・ルターが宗教改革運動を始めたことを記念する日です。

ルターは、当時の教会が発行していた贖宥状に対して疑問を抱き、1517年の10月31日に、ヴィッテンベルク城教会の門扉に「95か条の提題」を貼り出し、魂の救済として贖宥状を金銭で売買するローマ教皇庁に公然と抗議しました。ルターを中心に行われたこの宗教改革によって、当時の教会制度などに大きな変革をもたらし、プロテスタントが誕生しました。

今年は宗教改革508周年にあたります。ぜひ、この機会にチャペルへ足を運び、宗教改革礼拝に参加してみませんか。

3PS1 平野

## フィリア祭のお知らせ

11月3日(月・休)に、本学でフィリア祭が開催されます。フィリアは、古代ギリシャ語の「フィリオス」に由来し、「愛」や「友情」を意味します。フィリア祭は縦、横のつながりだけでなく地域の方々とも交流でき、九州ルーテル学院大学をもっと盛り上げていく一つのイベントです。昨年度は、カラオケイベントやダンス・音楽パフォーマンスによるステージイベント、お笑い芸人2組を招いての漫オライブ、部・同好会による模擬店などが行われました。

今年度は、イントロクイズ大会が開催される予定です。当日は、チャペル委員会からも模擬店の出店やステージイベントに聖歌隊が参加予定です。ぜひお越しください!

私自身、フィリア祭が初めてのためどのような模擬店が出店されるのか、どのような雰囲気なのかとても楽しみです。11月は、寒くなってきて感染症などに気を付ける時期でもあります。目いっぱい楽しむために体調管理をしっかり行い、フィリア祭でたくさんの素敵な思い出を作りましょう! 1PE1 上野





## キリスト教特別講演会の感想

8月5日の姜尚中先生によるキリスト教特別講演会「誰に対して隣人になれるか—善きサマリヤ人の代表的な意味」を拝聴しました。

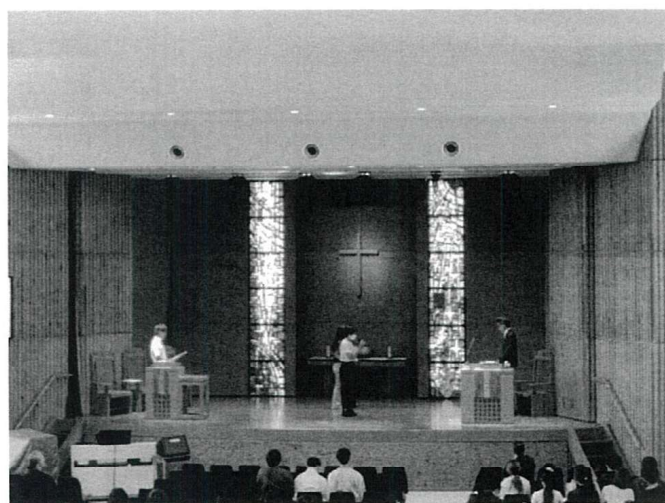
この講演から現代社会における人との関わり方を深く考えさせられました。先生は、国際化やグローバル化の進展を背景に、今や誰もがつながる一方で、異質な人と出会う機会が減っていると指摘されました。

特に印象に残ったのは、「人間を結びつけるのは力ではなく哀れみである」という言葉です。効率や利便性を追い求めがちな社会において、異質なもののや弱さを受け入れる姿勢こそが本当の強さなのだと感じました。

今回の講演を通じて、「誰に対して隣人になれるか」という問いを胸に、異なる価値観や背景を持つ人との出会いを大切にしていきたいと思います。

3PS1 中川

## キリスト教特別講演会の様子



## 編集後記

長かった夏休みが終わり、後期が始まりました。例年以上に暑い夏が終わり、涼しさが垣間見える今日この頃、皆さまいかがお過ごしですか。後期には、フィリア祭やクリスマス点灯式、クリスマス礼拝などの行事が予定されているので、ぜひ参加してください。

長期休み明けは生活のリズムや環境の変化により、心身ともに疲弊しやすい状態です。また、朝晩涼しくなってきました。体調を崩さないように気をつけてお過ごしください。

2CE1 山本